



ニュース

第175号

発行日 平成26年10月7日
 発行日 社会福祉法人 みのり会 中台育心園 園長/千葉桂資
 〒311-2213 茨城県鹿嶋市大字中 431-20
 電話 0299 (69) 2222
 F A X 0299 (69) 2237
 ホームページ <http://nakadaiikushinen.jp/>

今月の生活目標

【単 元】

□ 日常生活



【目 標】

- 生活と仕事の関連を理解し、皆と協力しながら、自主的に動けるようにしましょう。
- 自分の役割りと責任を果たすことができるようになりましょう。

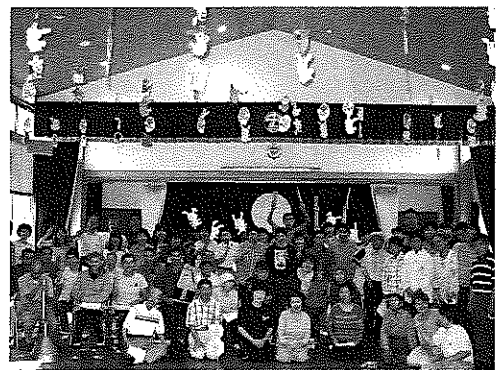
「支援」と「介護」

相談支援専門員 千葉 浩子

夏の終わり、まだ蝉の声が聞えていた9月7日。はるばるの遠方、奈良と新潟より見学者が来園され、中台のホールに暖かな歌声が満ちました。奈良市の有限会社「ていくあい」代表の竹村さんは、ミュージック・ケアの全国大会などで以前よりお付き合いのあった方です。全国セミナーでは毎回私のワークショップ「模擬演奏」に参加して下さっていたとの事。今年の初夏にお電話を頂き、中台育心園の「模擬演奏」に触れてみたいとの依頼で今回の見学に至りました。「ていくあい」の社員の方々8名と、新潟でミュージック・ケアを実践しておられる金ちゃん、茨城ミュージック・ケア研究会の会員の方々、千葉茂代先生、安重佐千子さん、安重洋子さんと、たくさんの方たちが来園下さいました。

利用者さんたちの緊張と期待の交じる中、「森のかじ屋」「ドナウ川のさざなみから」「カルメン」の3曲を披露すると拍手が鳴りやまず、ついにはアンコールの手拍子に、「おもちゃの世界メドレー」で応え、大喝采となりました。見学の方たちに一言ずつの感想をお願いすると、感動いっぱいの言葉を頂きました。

始めは緊張していた利用者さんた



すてきな出会いに感謝！
(模擬演奏見学)

ちも、曲が始まると次第に集中していき、演奏が終わると達成感からとても晴れやかな表情に変わっていました。利用者さんから担当楽器の紹介してもらい、「ていくあい」の皆さんが、お礼にとオートハープや三線の演奏をして下さり、演奏に合わせ皆で心を合わせ、手話も交えながら歌い、和気あいあいとした交流ができました。

午後からは当施設の職員との交流会を設け、それぞれの施設の紹介をし合い、情報交換をしました。ていくあい有限会社は小規模ながら対象者に寄り添った介護の取り組みを行ってられる事が伝わってきました。それぞれ現場での取り組みに話が及ぶと、「今まで働いてきて嬉しかったことは何だろうか？」という話題に。どちらの施設側からも、「対象者に愛情を持って寄り添うケアをすること

で、相手は必ず大切なものを返してくれる。」「より深い関係性ができる」と、ケアする側、される側としての垣根は消えてお互いにケアされ合っていることに気付く。」という意見が。福祉の仕事に真摯に取り組んでいる方にとつては、「支援」も「介護」も根本的には変わらないものであることが確信できました。実際の現場では業務をソツなくこなす事も大事ですが、もっと大切なものがある事を今回の交流研修会で再確認できました。「相手との関係性を大切にしたい。の通った関わり合いを日常のさりげないやりとりの中で行っていけること。そしてそれを喜びとして捉えることができるか。」これが現場職員に求められるものだと思います。現場の職員が、多くの気付きを持つよう、今後も今回のような実りのある研修の機会を持ちたいと思います。いつか奈良へも見学に行ってみたいと思いますし、今回の素敵な出会いに感謝しています。

誰しも人生、雨の日もあれば晴れの日もあります。今回の交流会で皆で心を合わせて歌った『にじ』の歌詞のように、雨が降ったら、いつか雲が流れて光がさして、空にはきれいな虹が架かる。みんなと一緒に空を見上げて「きつと明日はいい天気だね」と微笑み合える。そんな支援や介護の場にしていければいいと、心から思った見学研修会でした。

「利用者と関わって 学んだ事」

生活支援員 神崎 勝輝

私が当施設に入職して3年目に入りました。この3年の間に利用者の方々との関わりを通して様々な体験をし、学ぶ事ができました。

私は大学で保育系を専攻しており、何度か施設実習も経験しました。その度にイメージしていた事は『施設は暗い』というものでした。

しかし、中台育心園は全く違い、利用者の方々のキラキラした笑顔があり、皆が生き生きと生活していました。そして、何より笑い声が絶えないという事にとっても驚き、感心したのです。

日課の中でも、その時間によって作業に取り組み、ミュージック・ケアや模擬演奏ではとても集中して、しかも楽しんで活動している姿には感動すら覚えました。

支援員として働くようになり、利用者さんと関わっていく中で、利用者さんが「できない事の壁」に直面する場面に遭遇する事があります。それは、掃除であったり片付けであったりと様々ですが、何度も繰り返し伝え、自ら手本を見せ、共に行っていくと、少しずつですが利用者さん自身でできるようになってきたり、最初は大きかった「できない事の壁」

を、ゆつくりゆつくり、自分のペースで乗り越えていく利用者さんを見る度、私自身も嬉しくなり、支える喜びとなっています。

これからも笑顔を絶やさず明るく支援していけるよう励んでいきたいと思っています。



大盛況だった夏まつり。太鼓の達人も登場しました (夏まつり)

○ 厨房だより ○

栄養士 茂木 豊子

「夏を乗り切るスタミナメニュー紹介」

今年も暑い日々が続きましたが、利用者の皆さんはみんな元気に過ごせました。今回は中台特製・夏のスタミナメニューをご紹介します！

<ピピンバ丼> (2人分) (1人分 580kCal 蛋白質 25g、脂質 15g、塩分 1.6g)

精白米 180g

☆肉みそ	
豚ひき肉	100g
味噌	小さじ1
砂糖・醤油・酒	各小さじ2
豆板醤	少々
生姜・ゴク(みじん)	各10g
サラダ油	小さじ1

☆ナムル	
豆もやし	80g
ほうれん草	120g
人参(千切)	20g
醤油・ごま油	各小さじ1弱
炒りゴマ白	小さじ1
塩	少々
ラー油	お好みで

☆トッピング	
韓国のり	4枚
温泉タマゴ	2個

★作り方★

- ①ニンニクと生姜を油で炒め、豚ひき肉と調味料を入れて、水気がなくなまで煮詰める。
- ②豆もやし、ほうれん草、人参は塩ゆでする。水気をよく切り、調味料で味をつける。
- ③どんぶりにご飯を盛り、中心を残して放射状に肉みそとナムルを交互に盛り付ける。
- ④中心に温泉タマゴを入れ、韓国のりを細かくちぎって上から散らして完成。

※辛さはお好みで調整してください。

《メモ》

きのこスープと柑橘系のフルーツを添えて頂くと、夏を乗り切るための栄養がバランス良く摂れます。



グループだより

★ひまわりグループ

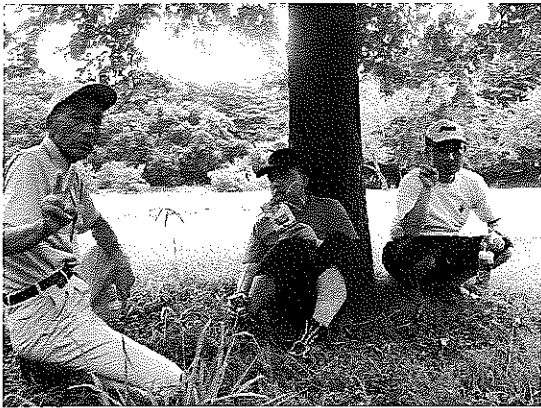
『ひまわり5号室』

74歳になった大谷さんは、まだまだお元気で、日々の活動にも精神的に取り組んでおられます。

53歳の細田さんは、身体を動かして汗を流す事が大好きで、仲間の面倒見も良く、グループのお兄さんのような存在です。

26歳の沼田さんは、笑顔がとても素敵で、掃除の時間にもニコニコ笑顔で大ホールをモップがけできれいにしてきています。

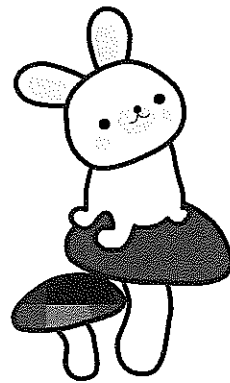
私が夜勤で見廻りに行った時の事です。74歳、53歳、26歳の三人が川の字になって、全員同じポーズで寝ていました。まるで三世代の親子の



木蔭でちよつとひとやすみ (合同キャンプ)

ようで、微笑ましく思った夜でした。その後、同じ姿は見えていないのですが、慣れなく不安が多かった夜勤が楽しみに思えるようになりました。

〈長岡〉



★すみれグループ

『歌って踊れるエンターティナー』

ある日の午後、「ほーちよいさつ♪ よいさつ♪ おらよつと♪」と、後ろから陽気な歌声が聞こえてきました。振り向くと、茂木さんが歌いながら踊っていました。楽しそうにくるくると踊る茂木さんを見てみると、思わず笑みが零れてしまいました。

すると、「なんで笑ってくるの？」と、歌のリズムそのまままで尋ねてくるのです。陽気で朗らかな茂木さんは、いつも私に笑顔をくれます。

そして、落ち込んでいた時には、「どうしたの？」と心配そうに声をかけてくれます。楽しさも悲しさも、人と一緒に分かち合う、そんな心の優しい方なのです。

これからもみんなにすてきな笑顔を分けてあげて下さいね。

〈金沢〉

★あざみグループ

『感謝感激』

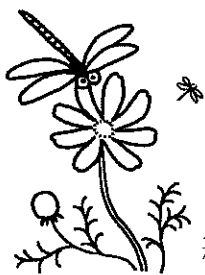
ある風の強い日の事です。外に干していた洗濯物が数枚、風に飛ばされて地面に落ちていました。急いで拾いに行こうとした私を、後ろから追い抜いていく人影がありました。

その正体は、石田さんでした。私の横を身軽に通り過ぎ、手早く洗濯物を拾って干し直してくれたのです。

ありがとう、と、感謝の気持ちをお伝えすると私の目を見て「うん」と、大きく頷くと、来た時と同じように颯爽と去って行きました。

石田さんはその他にも重い物を持っていたりすると、躊躇なく手を貸してくれます。か弱い(?)私を嫌な顔ひとつせず手伝ってくれるその優しさに、感謝、感激です。その力強さについていっ甘えてしましますが、これからもよろしくお願ひしますね。

〈横田〉



★なでしこグループ

『きまぐれ☆歌姫』

「十二時になったよー。」昼食の時間が近づくと、野口さんの元気な声



みんなで『絆』をつなぎました (1000km横断リレー)

がデイルームに響き渡ります。その声を聞くと私のお腹もぐうぐう鳴って、ご飯モードになるんです。

野口さんは入所して一年半。すっかりなでしこグループの人気者で、存在感パツチリです。そんな野口さんの特技は、何と言っても「歌う事」です。レパートリーも広く、アニメ主題歌から懐メロ、童謡に歌謡曲と、数えきれない程です。レクリエーションなどでのカラオケの時間はもちろん、余暇時間でも元気な歌声を聞かせてくれます。

ただ、いつも聞かせてくれるわけではなく、気分が乗っていないとダメなようです。きまぐれな歌姫の歌声を聞いた日は、私も気持ちがあうきうきして元気になるんです。

これからも素敵な歌声をいっぱい聞かせてください。

〈土方〉

作業班だより

作業班担当 方波見信義

今年4月に支援員として入職し、作業班をまかされる事となりました。作業班の主な活動内容は、農耕と行事準備時の力仕事などです。

農耕活動ですが、私にも農作業の経験がなく戸惑いの連続でしたが、先輩職員に助言を受けたりインターネットで調べたりして、何とか作物を収穫する事ができました。収穫の喜びはひとしおなのですが、それよりも雑草の伸びが早いのは脅威を感じました。暑い中での除草作業は大変でしたが、活動の合間合間には冷たい飲み物を用意して頂き、先輩職員の細やかな気遣いに感謝してい

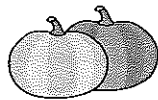
☆ おしらせ ☆

～勤労感謝祭のご案内～

- 【日時】 平成26年11月9日(日)
10:30~14:00
- 【場所】 中台育心園 大ホール他
- 【内容】 ◎各種飲食模擬店
◎ステージ発表
◎パン販売 など

今年のテーマは 「ありのままに」

楽しい催し
満載で
お待ちしております!



ます。行事準備では、春のお花見と夏祭りでの会場作りの垂木を組んでよしずを張ったり、櫓を立てたりと大忙しでした。しかしどのイベントも大盛況で、その成功に携わる事ができて満足ですし、「よくできた」と自負しています。これからも畑での作物づくりも、秋の収穫や感謝祭に向けて、作業班のみならず共に頑張っていきたいと思っております。

跡 跡 跡

【7・8月】

【寄付】

▼橋爪壯様

▼五十嵐加世様

▼間野澄子様

▼佐藤一様

▼山口一則様

▼小野口里子様

▼鹿嶋市社会福祉協議会様

【来園者】

▼ベルの会様(洗濯ボランティア) ▼羽生明義様(絵画指導) ▼アットホームアンダンテ・ウイズ様(演奏ボランティア) ▼永光パートナーズ渡辺様、安田様(会計監査、指導) ▼横田裕樹様(会計監査) ▼茨城県和田様、大津様、武石様(行政監査) ▼行方市役所松本様、久米様(区分判定調査) ▼稲敷市役所宮本様、橋本様(区分判定調査) ▼鹿嶋市役所 中尾様、アシスト(株) 安保様(障害福祉計画策定) ▼植草短期大学 高木様(実習巡回) ▼聖徳大学 井口唯様、小島希美様(実習オリエンテーション) ▼久保田芳弘様(契約) ▼橋爪八重子様(契約) ▼杉田司郎様(契約) ▼高柳訓子様(契約) ▼芳野富美子様(契約) ▼坂本よしい様(契約) ▼藤岡美智子様、さく様(契約) ▼小野口正子様、里子様(面会) ▼山中広大様(面会) 【ショートステイ】

▼茂木カツ子さん

▼緒形英伸さん

【日中一時支援】

▼本谷竜久さん(放課後支援) 【教育実習】

▼植草学園大学

野口明日香様、佐藤美佳様 (7月7日~17日)

【7・8月誕生者】

▼島田稚さん(7月17日)

▼竹添幸也さん(7月20日)

▼久保田雅子さん(7月22日)

▼星野敏行さん(7月23日)

▼大谷光明さん(7月27日)

▼野原みち代さん(7月28日)

▼沼田賢治さん(7月29日)

▼川尻勝久さん(8月11日)

▼島村龍馬さん(8月12日)

▼野口円さん(8月13日)

▼飯塚秀男さん(8月16日)

▼細田正弘さん(8月20日)

編集後記

最近、車の汚れがひどくなってきました。そんなある日、愛車の後輪付近に甚だ許し難い汚れが目にとまりました。犬の、粗相跡です。

これは! と思い、洗車を決行! 始めると妙にこだわってしまい、車体は当然の事ながら、車内からドアの内側から、すべてピッカピカに磨きあげました。輝く愛車を眺めて大満足! 洗車所要時間、4時間。

そして、翌日、お約束のように雨が降ったのでした(泣)。 <チヨダ>